

先輩からのメッセージ



クリエイティブな仕事で子どもたちを支えたい

東町中学校 教諭 石原 達也

「授業で生徒をわくわくさせたい。子どもたちの可能性を最大限に広げるサポートをしたい。」そんな思いをもって、日々子どもたちに向き合っています。どうすれば子どもたちに「うまくいった！」という経験が生まれるのか。それを実現するためには、クリエイティブな教師の思考が欠かせません。学校はそんな「クリエイティブ」があふれる職場です。子どもたちの笑顔のために、私は今日も終わりのないアップデートを続けています。



大好きな園児と共に成長できる場所

向山幼稚園 教諭 小見 久美子

子どもの頃、人前で話すことを苦手としていた私に、笑顔で話しかけ、思いを汲んでくれた先生のことを今でも覚えています。私が幼稚園教諭として心がけているのは、園児が安心して自分の思いを出せる関係を築くこと、園児が自分の意思で取り組み、学んでいく体験を大事にすることです。援助に悩むこともありますが、職場には学び合い相談できる仲間がいます。何より、園児たちと思いを出し合って展開する保育は楽しく、幼稚園は大好きな園児と共に成長できる場所です。



子どもたちに寄り添う

天明中学校 養護教諭 奥田 早希

養護教諭として私が心がけていることは、「子どもに寄り添う」ことです。子どもたちの心身の健康課題はそれぞれであり、どう支援していくか時には悩むこともあります。しかし、先生方と連携しながら子ども一人一人に寄り添い、元気に保健室を出る姿を見ると喜びを感じます。

養護教諭は、子どもたちの成長を経年的に間近で見届けることができる魅力ある職業です。これからも子どもたちと共に成長し続ける養護教諭でありたいと思います。



知ること

城南小学校 教諭 黒松 健

私は、「知ること」を大切にしています。子どもたち一人一人を知ること、その子が抱えている悩みに、寄り添うことができると思っています。一人一人違う子どもたちへの手立てには、私自身悩むことがあります。そのために、休み時間などを使って相談にのったり、何気ない会話をして、その子自身を理解したりするように心がけています。続けるうちに、自分から悩みを相談してくれた時は、信頼してくれていると実感し、嬉しく思いました。一人一人を知り、子どもに寄り添える教員を目指していきたいです。

MESSAGE



「食」を通して子どもたちを笑顔にしたい

井芹中学校 栄養教諭 松村 恵美

私は、子どもたちの健康な心と体を育むために、食の大切さや楽しさを伝えられるような栄養教諭でありたいと思っています。毎日の給食業務は大変なこともあります、子どもたちの「給食美味しかったです。」の声や苦手なものでも頑張って食べている姿に日々励まされています。

給食を通して、子どもたち一人一人に寄り添い、たくさんの笑顔が見られるよう、安全安心でおいしい給食の提供と食育の充実を目指しています。



学びの連続を楽しむ

比由館高校 教諭 古川 かおり

子どもの頃、苦手だったピアノを練習して少し弾けるようになった時、頑張って解いた算数の問題に先生が丸を付けてくれた時、とても嬉しかったことを覚えています。そして、今も試行錯誤しながら生徒たちと、新しいものをともに創造していく楽しさを感じています。生徒の「伸びたい!」という気持ちを引き出しながら、私自身も常に新しい学びに挑戦できることを楽しめる教師でありたいと思っています。



努力し続ける教師

江原中学校 教諭 松岡 美希

なんとなく興味を感じていた教師への道でしたが、大学に入って特別支援教育を専門的に学習することで教師に憧れるようになりました。今、特別支援学級の担任をしながら、子どもたちが様々なことに挑戦し、経験を重ね、少しずつ成長していく姿を見ると大きな感動があり、子どもたちのよりよい成長の支援こそが私のやりがいだと感じています。

私は、子どもと共に成長するため、努力し続ける教師でありたいと思っています。



「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」をめざして

託麻東小学校 校長 廣瀬 泰幸

本校の教育目標は「自分をつくる」。なりたい自分をめざし主体的に行動できる子どもの育成を目指しています。子どもたちは、楽しみ、喜び、達成感、期待感の積み重ねにより、意欲を持ち主体的に行動できると考えます。これは教職員も同じこと。教職員集団は、協働し学び合い高め合い、子どもの成長を喜び合えるチームであるから、日々やりがいを感じ成長できるのです。

子どもも教師も自己実現が図れる「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」、そういう学校でありたいと思っています。